

# 電源 I 廠氣象対応調整力提出様式

2022年●月●日

関西電力送配電株式会社

# 目 次

様式1	入札書
様式2	応札者の概要
様式3	電源等の仕様
様式3-1	電源等の仕様(火力発電機)
様式3-2	電源等の仕様(水力発電機)
様式7	運用条件に関わる事項
様式8	入札辞退書

2022年 ● 月 ● 日

## 入札書

関西電力送配電株式会社  
代表取締役社長 土井 義宏 宛

会社名 ●●株式会社  
代表者氏名 ●● ●●

印

関西電力送配電株式会社が公表した「2022年度電源I<sup>〳</sup> 廠気象対応調整力募集要綱」を承諾し、下記のとおり入札いたします。

1 発電機等の所在地および契約電源等の名称	●●県●●市●●番 ●●発電所●号機		
2 電源I <sup>〳</sup> 廠気象対応調整力契約電力 (送電端値)	●		kW
3 運転継続時間	●		時間連続可能
4 電源I <sup>〳</sup> 廠気象対応調整力提供可能時間	●	時 ~ ●	時
	(廠気象対応準備時間(9時~20時)の間) ※上記時間帯のうち、提供不可の時間帯があれば下記に記載してください。 ●時~●時, ●時~●時		
5 容量単価(1kWあたりの価格)	1 kWあたり	●	円 ● 銭
6 容量価格 <sup>※1</sup> (容量単価×電源I <sup>〳</sup> 廠気象対応調整力契約電力)		●	円
7 上限電力量単価	1 kWhあたり	●	円 ● 銭
8 当社からの指令方法	簡易指令システムを用いたオンライン		
9 指令受信から調整実施までの時間	●		分 (3時間(180分)以内)
10 廠気象対応調整発動可能回数	●		回(12回以上)
11 他の応札との関係 (該当するものに○をつけてください。) ※他エリアの調整力公募に応札する場合は「○○」に当該エリア名称を記載してください。複数ある場合は行を追加してください。		重複入札	複数入札
	電源I周波数調整力		
	電源I需給バランス調整力		
○○調整力公募 ※		○	○

12 一部切出しが可能な場合の調整契約電力 ※2	調整契約電力（送電端値）※3	
	● kW～	● kW
	kW～	kW
	kW～	kW
※容量単価は5の値，上限電力量単価は7の値を適用するものとします。		
13 電源Ⅱ契約の締結有無 （該当するものに○をつけてください。）	○	電源Ⅱ周波数調整力契約
		電源Ⅱ需給バランス調整力契約
14 計量器の有無 ※4	有	
15 資本関係または人的関係等のある者との事前調整等の有無※5	無	

（作成にあたっての留意点）

○押印欄については，代表となる1社の住所，会社名，代表者名を記名・捺印してください。

○用紙の大きさは，日本工業規格A4サイズとしてください。

※1 容量価格につきましては，募集要綱に定める提供時間において，当社または属地TSOからの指令を受け，契約電源から厳気象対応調整力を確実に提供いただくために要する費用を勘案のうえ設定してください。

※2 落札者の決定にあたり，募集容量に達する，もしくは超過するまでの年間の調達費用の合計をなるべく小さくするために，本来の応札（2項に記載する電源Ⅰ「厳気象対応調整力契約電力での応札」の一部のみでの落札についても，許容いただける応札者については，許容いただける契約電力（これを「調整契約電力」といいます。）を記載いただければ，それら内容での落札可否についても，考慮させていただきます。ただし，本項目での記載の有無・内容が，本来の応札（同上）の落札可否に影響するものではありません。また，契約電力以外の内容については，入札書に記載されている本来の応札のそれと同じとします。詳細は，「第7章評価および落札案件決定の方法」「〔ステップ4〕落札案件の仮決定」を参照願います。

※3 調整契約電力については，幅（●kW以上～●kW未満）で記載いただいてもかまいません。その場合，調整契約電力については，1kW単位で取り扱うものとします。（本項目に記載の調整契約電力を用いて落札案件となった容量価格は調整契約電力×容量単価で求まるものといたします。）

※4 DR を活用して契約される場合は，属地TSOの約款に基づく計量器の有（ただし調整力ベースラインの設定，ならびに，当社からの指令に基づく調整力ベースラインからの出力増減が特定できる計量器に限ります。），発電機で契約される場合は，発電機毎の計量，もしくは仕訳により出力が特定可能な計量器の有，もしくは属地TSOに事前に計量器取り付け・取り替えを申請中であるかを記載願います。なお，アグリゲーターが集約する需要家等において1件でも計量器の取り付け・取り替えを申請中である場合，申請中を選択してください。

※5 資本関係または人的関係等のある者との事前調整等を行なったにも関わらず，1の者からの応札またはJV応札としなかったことが判明した場合は，関連する全ての入札を無効といたします。

## 応札者の概要

会 社 名	●●株式会社
業 種	●●
本 社 所 在 地	●●県●●市●●町●●番
設 立 年 月 日	●●●●年●●月●●日
資 本 金 (円)	●, ●●●
売 上 高 (円)	●, ●●●
総 資 産 額 (円)	●, ●●●
従 業 員 数 (人)	●, ●●●
事 業 税 課 税 標 準	収入割を含まない

(作成にあたっての留意点)

- 業種は、証券コード協議会の定める業種別分類(33業種)に準拠してください。
- 応札主体が、JVまたは合弁会社の場合や落札後に設立する新会社である場合は、代表となる事業者に加えて関係する事業者についても、本様式を提出してください。
- 資本金、売上高、総資産額、従業員数は、直前の決算期末の値(単独決算ベース)を記入してください。  
なお、落札後に新会社等を設立する場合は、応札時点で予定している資本金等を可能な限り記入してください。
- 応札者が適用する事業税課税標準について、該当するものを選択してください。
- 用紙の大きさは、日本工業規格A4サイズとしてください。

## 電 源 等 の 仕 様

## 1 契約電源等内訳一覧

No.	評価対象 ①ネガワット ②ポジワット ※1	地点に関する情報				供出電力に関する情報							供出手段に関する情報			他需要抑制契約の状況※5	2024年度容量市場(実効性テスト)に参加※6	計量器※7	
		(①の場合) 供給地点特定番号  (②の場合) 受電地点特定番号	発電者名 又は需要家名	電源等名称	住所	(②の場合) 契約受電電力(kW) ※2	供出電力(kW) ※3						電源等種別 電源(自家発電等) 需要抑制	供出方法	(電源の場合) 発電設備の容量(kW) (需要抑制の場合) 負荷設備の容量(kW) ※4				
							7月	8月	9月	12月	1月	2月							備考
1	①ネガワット	09XXXXYYYYZZZRRRTTTT	〇〇株式会社〇〇支社	〇〇支社	●●県●●市●●区●●●●1-1-1	200	200	200	300	300	300		需要抑制	工場ラインの一部停止	・包装ライン 300kW	a	○	有	
2	②ポジワット	09XXXXYYYYZZZRRRRSSSS	〇〇株式会社〇〇工場	〇〇工場1G	●●県●●市●●区●●●●2-2-2	400	0	400	400	100	100	100		電源(自家発電等)	自家発電の起動	・ディーゼル発電機 400kW×2台	a		申請中
3	②ポジワット	09XXXXYYYYZZZRRRRUUUU	〇〇株式会社〇〇発電所	〇〇発電所1G	●●県●●市●●区●●●●3-3-3	800	500	500	500	500	500		電源(自家発電等)	発電機の起動	・コージェネ 1,200kW (電源)・ディーゼル発電機 200kW (需要)出荷ポンプ 50kW×2	c		有	
4	①ネガワット	09XXXXYYYYZZZRRRRXXXX	〇〇株式会社〇〇工場	〇〇工場	●●県●●市●●区●●●●4-4-4	200	200	200	200	200	200		電源および需要抑制	自家発電の起動, 工場ラインの一部停止		b	○	有	
5	②ポジワット	09XXXXYYYYZZZRRRRXXXX	〇〇株式会社〇〇工場	〇〇工場1G	●●県●●市●●区●●●●4-4-4	200	100	100	100	100	100		電源(自家発電等)	自家発電の起動	・ディーゼル発電機 400kW×2台	b		有	
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			
22																			
23																			
24																			
25																			
26																			
27																			
28																			
29																			
30																			

(作成にあたっての留意点)

○評価対象(ポジワットもしくはネガワット), アグリゲーションの有無に関わらず, 全ての入札案件に本様式の提出が必要です。

○電源I 廠気象対応調整力契約電力(以下「契約電力」)を変更しないことを前提に, 落札者選定後に契約電源等内訳一覧を変更することは可能とします。

○応札者が指定する複数の発電設備を集約し, または当該発電設備と需要抑制を実施できる需要家を集約し, 廠気象対応調整力の提供を行うための要件は, 『逆潮流アグリゲーションおよび発電バランシンググループの設定方法に関する取扱いについて』のとおりといたします。

次に示すケースに該当する地点を他地点とアグリゲーションする場合には, 提供期間を通じて1,000kW以上の提供ができないことを証明する書類を提出してください。

(1) 契約受電電力が1,000kW以上の場合

(2) 同一地点においてネガワット・ポジワットの双方を評価対象とすることを希望し, ネガワットの供出電力とポジワットの契約受電電力の合計値が1,000kW以上となる場合

○用紙の大きさは, 日本工業規格A3サイズとしてください。

※1 指令時に当該地点をネガワット・ポジワットどちらで評価するか選択してください。また, ポジワットを選択された電源等については, 様式3-1もしくは様式3-2を提出してください。なお, 同一地点でネガワットとポジワットの双方を評価対象とすることを希望する場合は, 二行に分けて記載してください。

※2 発電量調整供給契約の契約受電電力を記入してください。

※3 契約電力を供出するにあたり, 各地点に供出を見込む電力を記載してください。(この供出電力の合計が契約電力以上であることが必要です。)

供出電力(kW)が, 発電設備または負荷設備(または需要家)の容量(送電端値)以下であることが必要です。

同一の発電設備または負荷設備(または需要家)を他の契約と共有する場合は, それらの供出電力(kW)と供出電力量(kWh)が重複しておらず, 明確に区別・区分されることが前提となり, それぞれの契約への供出電力(kW)の合計値が, 当該設備(または需要家)容量(送電端値)以下となっているかを確認させていただきます。そのため, 当該設備(または需要家)からの調整力供出電力・供出電力量の区分方法などが分かるものを提出願います。(様式は問いません。)

同一の発電設備または負荷設備(または需要家)を共有する他の契約にも同様の資料を提出いただいた上で, それぞれの調整力供出電力を確実に供出いただけることを確認させていただきますが, その内容が確認できない場合は(それぞれの契約での当該設備(または需要家)からの調整力供出(電力(kW)/電力量(kWh))の確実性が確認できない場合)は, 当該設備(または需要家)を契約内容として勘案しません。(需要家等の対象から除外します。)

※4 評価対象ごとに以下の情報が分かる書類を添付してください。

(1) 発電設備の場合: 発電機の基本仕様, 起動カーブ, 運転記録, 運転体制, 廠気象対応調整機能に必要な信号を送受信する機能

(2) 負荷設備の場合: 対象負荷設備の容量, 制御方法, 運転体制, 廠気象対応調整機能に必要な信号を送受信する機能

※5 集約する需要家等の需要抑制により生じる供出電力の提供について, 以下の該当する番号を選択してください。

a. 本要綱にもとづく一般送配電事業者への提供のみ(他の応札者からの応札あり)

b. 本要綱にもとづく一般送配電事業者への提供のみ(他の応札者からの応札なし)

c. 一般送配電事業者以外に, 小売電気事業者へも提供

※6 入札時点で発動指令電源の電源等リストへの登録が未定の場合は空欄としてください。

※7 属地TSOの約款に基づく計量器が設置されている場合は「有」(ただし調整力ベースラインの設定および当社からの指令に基づく調整力ベースラインからの出力増減が特定できる計量器に限ります。), 属地TSOに事前に計量器取り付け・取り替えを申請中である場合は「申請中」を選択してください。





## 電源等の仕様（火力発電機）

- 1 電源等名称 ●●工場 1 G
- 2 営業運転開始年月日 ●●●●年 ● 月 ● 日
- 3 主たる使用燃料 石炭
- 4 発電機
- |               |                   |     |
|---------------|-------------------|-----|
| (1) 種類（形式）    | 汽力                |     |
| (2) 定格容量      | 500,000           | kVA |
| (3) 定格電圧      | 66                | kV  |
| (4) 周波数       | 60                | Hz  |
| (5) 連続運転可能周波数 | 58.5 Hz ~ 60.5 Hz |     |
- 5 所内率 4.0 %

○複数の発電機を集約して一体的に電源 I 〃 廠気象対応調整力供出を行なう場合、発電機ごとに提出してください。

○用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 サイズとしてください。

## 電源等の仕様（水力発電機）

- 1 電源等名称 ●●水力発電所 1 G
- 2 営業運転開始年月日 ●●●●年 ● 月 ● 日
- 3 最大貯水容量（発電所単位で記載） 1,000 (10<sup>3</sup>m<sup>3</sup>)
- 4 発電機
- |               |                   |     |
|---------------|-------------------|-----|
| (1) 種類（形式）    | 調整池               |     |
| (2) 定格容量      | 30,000            | kVA |
| (3) 定格電圧      | 6.6               | kV  |
| (4) 周波数       | 60                | Hz  |
| (5) 連続運転可能周波数 | 58.5 Hz ~ 60.5 Hz |     |
- 5 所内率 4.0 %

○複数の発電機を集約して一体的に電源 I 〳 廠気象対応調整力供出を行なう場合、発電機ごとに提出してください。

○用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 サイズとしてください。

## 運用条件に関わる事項

発電機名 ●● 発電所 ● 号機

運 転 継 続 時 間	※運転継続時間に制限がある場合には、運転継続時間とその理由を記入してください。
計 画 停 止 の 時 期 お よ び 期 間 等	<p>※契約期間内における定期検査等、停止（電源 I 〳 廠気象対応調整力を提供できない）の実施時期や、その期間を記入してください。また、実施時期を限定する必要がある場合は、その旨についても記入してください。</p> <p>※定期検査等、停止の他に、設備都合による作業停止や出力抑制が必要な場合は、実施インターバル、期間および内容について記入してください。</p> <p>※なお、本入札書類をもって、仮に落札・契約した場合の年間停止計画を確認・了承するものではありません。</p> <p>※年間停止計画については、契約成立後（または契約協議の中で）、本募集要綱第8章（6）に基づき、改めて提出いただきます。</p>
運 転 管 理 体 制	※当社からの指令や連絡に対応するための運転管理体制（運転要員、緊急連絡体制等）について記入してください。
給電指令対応システム	※当社からの指令に応じるためのシステム概要について記入してください。（信号受信装置から発電設備等の出力制御回路までの連携方法等。なお、DRを活用して応札される場合は、アグリゲーターが当社からの信号を受信し、個別需要家等への指令を行なうまでの方法も含めて記入してください。）
そ の 他	※その他、起動や解列にかかる制約（同一発電所における同時起動制約）、条例による制約等、特記すべき運用条件等がありましたら、記入してください。

（作成にあたっての留意点）

- 複数の発電機を集約して一体的に電源 I 〳 廠気象対応調整力供出を行なう場合、本様式は発電機ごとに提出してください。
- 記載内容について、具体的に説明していただくことがあります。
- 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 サイズとしてください。

2022年●月●日

## 入札辞退書

関西電力送配電株式会社  
代表取締役社長 土井 義宏 宛

会社名 ●●株式会社  
代表者氏名 ●● ●●

印

関西電力送配電株式会社の「2022年度電源I 厳気象対応調整力募集」に下記内容で入札しましたが、都合により入札を辞退いたします。

1 発電機等の所在地および契約電源等の名称	●●県●●市●●番 ●●発電所●●号機
2 電源I 厳気象対応調整力契約電力 (送電端値)	● kW
3 運転継続時間	● 時間連続可能
4 電源I 厳気象対応調整力提供可能時間	● 時 ~ ● 時 (厳気象対応準備時間(9時~20時)の間)
	※上記時間帯のうち、提供不可の時間帯があれば下記に記載してください。 ●時~●時, ●時~●時
5 容量単価(1kWあたりの価格)	1kWあたり ● 円 ● 銭
6 容量価格(容量単価×電源I 厳気象対応調整力契約電力)	● 円
7 上限電力量単価	1kWhあたり ● 円 ● 銭
8 当社からの指令方法	簡易指令システムを用いたオンライン
9 指令受信から調整実施までの時間	● 分 (3時間(180分)以内)
10 厳気象対応調整発動可能回数	● 回(12回以上)

<p>11 他の応札との関係  (該当するものに○をつけてください。)  ※他エリアの調整力公募に応札する場合は「○○」に当該エリア名称を記載してください。複数ある場合は行を追加してください。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>重複入札</th> <th>複数入札</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電源 I 周波数調整力</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源I需給バランス調整力</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○○調整力公募 ※</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>		重複入札	複数入札	電源 I 周波数調整力			電源I需給バランス調整力			○○調整力公募 ※	○	○
	重複入札	複数入札											
電源 I 周波数調整力													
電源I需給バランス調整力													
○○調整力公募 ※	○	○											
<p>12 一部切出しが可能な場合の調整契約電力</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">調整契約電力 (送電端値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">● kW~</td> <td style="text-align: center;">● kW</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">kW~</td> <td style="text-align: center;">kW</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">kW~</td> <td style="text-align: center;">kW</td> </tr> </tbody> </table> <p>※容量単価は5の値，上限電力量単価は7の値を適用するものとします。</p>	調整契約電力 (送電端値)		● kW~	● kW	kW~	kW	kW~	kW				
調整契約電力 (送電端値)													
● kW~	● kW												
kW~	kW												
kW~	kW												
<p>13 電源 II 契約の締結有無  (該当するものに○をつけてください。)</p>	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td>電源 II 周波数調整力契約</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源 II 需給バランス調整力契約</td> </tr> </table>	○	電源 II 周波数調整力契約		電源 II 需給バランス調整力契約								
○	電源 II 周波数調整力契約												
	電源 II 需給バランス調整力契約												
<p>14 計量器の有無</p>	<p style="text-align: center;">有</p>												